悔いなき青春をかけた感動作　ここに誕生！

権力に抗して
声をあげた乙女がいた―

わが青春つきるとも
―伊藤千代子の生涯―

#metoo

井上百合子
窪塚俊介
石丸謙二郎　津嘉山正種
塚瀬香名子　角田萌果　印南 唯　宜野座万鈴
當銀祥恵　田上 唯　平田 舞　和内璃乃　市橋 恵
嵐 圭史
ナレーション：長谷川稀世
竹下景子
金田明夫



企画・プロデューサー：桂 壮三郎　原作：藤田廣登 増補新版「時代の証言者 伊藤千代子」（学習の友社・刊）
ラインプロデューサー：山地 昇　脚本：宮負秀夫 桂 壮三郎　撮影監督：田宮健彦　照明：守利健一　録音：山口 勉　美術監督：安藤 篤　音楽監督：山谷知明
編集：小林由加子（csw）　キャスティング：石井美保子 升本由喜子　記録：増田実子　衣裳：笹倉三佳（おかもと技裳）　メイク：オオクボエミコ
助監督：森山茂雄　制作担当：鈴木 智　アシスタントプロデューサー：星 孝行 平沢清一
制作協力：アトリエ羅夢　製作：映画「伊藤千代子の生涯」ゴーゴービジュアル企画

桂 壮三郎 監督作品

文化庁「ARTS for the future!」補助対象事業

©2022映画「伊藤千代子の生涯」ゴーゴービジュアル企画

戦争と無権利の時代、反戦と主権在民を掲げ闘いに斃(たお)れた若き女性の真実の物語

日本は1920年代（昭和初期）、絶対的天皇専制軍事ファッシズムのもと国民は天皇の臣民（天皇の家来）とされ、貧困と無権利の状態に置かれていました。

支配体制を強める絶対的天皇専制政治は中国への侵略を本格化し、1925年に治安維持法を成立させ、共産主義者、社会主義者、労働組合・農民組合、知識文化人などを思想犯罪者として逮捕し拷問を加え弾圧したのです。

多くの若き社会活動家が治安維持法で命をおとしました。伊藤千代子もそうした活動家のひとりでした。

この映画は伊藤千代子をはじめ、この厳しい時代に社会変革への志をもち、必死に生きた人々の真実の物語です。

本映画は映画的リアリズムを追求し、製作者達は真摯な気持ちで作品に対峙し撮影されました。

伊藤千代子役にはオーディションで選ばれ本作品で映画デビューする新人・井上百合子。

その他主要なキャストには、窪塚俊介が複雑な革命家、浅野晃を見事に演じているほか、土屋文明に金田明夫、そして石丸謙二郎が冷徹な特高を演じています。

また、東京女子大の学長、安井てつ役で竹下景子が出演。その他、若手新人女優が多数出演。

監督には、映画「校庭に東風吹いて」等製作した社会派監督桂壮三郎がメガホンをとっています。

日本　125分　カラービスタビジョン作品
©2022映画「伊藤千代子の生涯」コーコービジュアル企画

小林多喜二と伊藤千代子 ～時代が結んだ青春～

1928（昭和3）年、日本で初めて25歳以上の男性のみの普通選挙が行われました。このとき伊藤千代子は、北海道から出馬する労農党の候補者・山本懸蔵 の選挙資金を用立てるなど活動に参加しました。

一方、小樽では小林多喜二らが「われらの山懸」を迎え、たたかいの火ぶたが切られました。選挙応援の機会が巡ってきた多喜二は羊蹄山の麓へと吹雪をついて突き進み「俺たちの運動は何代がかりだなぁ」と…。（小林多喜二『東倶知安行』より）

同時代に、小林多喜二と伊藤千代子は目に見えない糸で結ばれながら、社会変革への息吹を胸一杯に吸うのでした。

二人が、もし特高警察の弾圧で生を絶たれなければ、どんなに素晴らしい人生を切り拓いていったことだろう。


小林多喜二
（1903～1933年）


伊藤千代子
（1905～1929年）

『婦人論』読んで、ジェンダー平等へのめざめ

「女が勉強して何にならずか」という風潮の中で、向学心に燃えた千代子は、諏訪高等女学校で土屋文明から薫陶を受け、仙台・尚絅女学校では自由・平等の新しい社会思潮にふれ、そして臨んだ東京女子大でベーベルの『婦人論』に出会い、「これだ」と感動した千代子は、郷里の友に書き送る―。

「女の人が覚める時、男子の催眠術から、
そして自己の自己に対する
催眠術から覚める時、
どんなにすばらしい世の中が
展かれて来るでしょう」

（1925年12月発信の手紙から）

賛同団体　治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟　日本国民救援会　日本婦人団体連合会　婦人民主クラブ　新日本歌人協会　全日本年金者組合　全日本年金者組合東京都本部　全日本民主医療機関連合会　宇治・長野・大阪・東京各山宣会







完成記念披露上映会　東海・水戸会場

※デジタルチケットはQRコードで購入できます
PassMarket

【東海会場】◆4月24日（日）①14:00～　**東海文化センターホール**
【水戸会場】◆5月14日（土）①10:00～　②14:00～　**県民文化センター小ホール**
【ゲスト】◆東海会場:監督・出演者　◆水戸会場:ワタナベ・コウ（漫画家:「伊藤千代子の青春」著者）
◆入場料／前売券（両会場共通）1,200円（当日券・一般1,400円、学生・障がい者1,000円、中・高生800円）
◆前売券取扱所／県民文化センター、水戸京成百貨店、ひたちなか市文化会館、茨城映画センター、デジタルチケット
◆製作協力券をお持ちの方はご利用できます
◆主催／【東海会場】映画「わが青春つきるとも－伊藤千代子の生涯－」県北上映実行委員会（事務局／TEL090-3961-8578・大名）
【水戸会場】映画「わが青春つきるとも－伊藤千代子の生涯－」製作・上映支援茨城実行委員会（事務局／TEL029-226-3156・茨城映画センター内）
●コロナ感染防止のため、検温、手の消毒、マスク着用、来場者名簿の記入のご協力をお願いいたします。

戦争と無権利の時代、反戦と主権在民を掲げ闘いに斃(たお)れた若き女性の真実の物語

日本は1920年代（昭和初期）、絶対的天皇専制軍事ファッシズムのもと国民は天皇の臣民（天皇の家来）とされ、貧困と無権利の状態に置かれていました。

支配体制を強める絶対的天皇専制政治は中国への侵略を本格化し、1925年に治安維持法を成立させ、共産主義者、社会主義者、労働組合・農民組合、知識文化人などを思想犯罪者として逮捕し拷問を加え弾圧したのです。

多くの若き社会活動家が治安維持法で命をおとしました。伊藤千代子もそうした活動家のひとりでした。

この映画は伊藤千代子をはじめ、この厳しい時代に社会変革への志をもち、必死に生きた人々の真実の物語です。

本映画は映画的リアリズムを追求し、製作者達は真摯な気持ちで作品に対峙し撮影されました。

伊藤千代子役にはオーディションで選ばれ本作品で映画デビューする新人・井上百合子。

その他主要なキャストには、窪塚俊介が複雑な革命家、浅野晃を見事に演じているほか、土屋文明に金田明夫、そして石丸謙二郎が冷徹な特高を演じています。

また、東京女子大の学長、安井てつ役で竹下景子が出演。その他、若手新人女優が多数出演。

監督には、映画「校庭に東風吹いて」等製作した社会派監督桂壮三郎がメガホンをとっています。

日本／125分／カラービスタビジョン作品
©2022映画「伊藤千代子の生涯」コーコービジュアル企画

小林多喜二と伊藤千代子 ～時代が結んだ青春～

1928（昭和3）年、日本で初めて25歳以上の男性のみの普通選挙が行われました。このとき伊藤千代子は、北海道から出馬する労農党の候補者・山本懸蔵 の選挙資金を用立てるなど活動に参加しました。

一方、小樽では小林多喜二らが「われらの山懸」を迎え、たたかいの火ぶたが切られました。選挙応援の機会が巡ってきた多喜二は羊蹄山の麓へと吹雪をついて突き進み「俺たちの運動は何代がかりだなぁ」と…。（小林多喜二『東倶知安行』より）

同時代に、小林多喜二と伊藤千代子は目に見えない糸で結ばれながら、社会変革への息吹を胸一杯に吸うのでした。

二人が、もし特高警察の弾圧で生を絶たれなければ、どんなに素晴らしい人生を切り拓いていったことだろう。


小林多喜二
（1903～1933年）


伊藤千代子
（1905～1929年）

『婦人論』読んで、ジェンダー平等へのめざめ

「女が勉強して何にならずか」という風潮の中で、向学心に燃えた千代子は、諏訪高等女学校で土屋文明から薫陶を受け、仙台・尚絅女学校では自由・平等の新しい社会思潮にふれ、そして臨んだ東京女子大でベーベルの『婦人論』に出会い、「これだ」と感動した千代子は、郷里の友に書き送る―。

「女の人が覚める時、男子の催眠術から、
そして自己の自己に対する
催眠術から覚める時、
どんなにすばらしい世の中が
展かれて来るでしょう」

（1925年12月発信の手紙から）

賛同団体　治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟　日本国民救援会　日本婦人団体連合会　婦人民主クラブ　新日本歌人協会　全日本年金者組合　全日本年金者組合東京都本部　全日本民主医療機関連合会　宇治・長野・大阪・東京各山宣会







完成記念・土浦披露上映会

日時／2022年**5月8日（日）** ①10:00～ ②14:00～ ［各回、監督・出演者の舞台挨拶を予定しています］

会場　**クラフトシビックホール土浦《市民会館》小ホール**

入場料　前売　**1,200円**（当日券・一般1,400円、学生・障がい者1,000円、中・高生800円）

◆前売券取り扱い所／クラフトシビックホール土浦 / デジタルチケット

［◆製作協力券をお持ちの方はご利用できます。］

PassMarket
※デジタルチケットは
QRコードで購入できます

■主催 ／ 映画「わが青春つきるとも－伊藤千代子の生涯－」上映実行委員会
（問い合わせ先／☎090－3537－2632・福田）

■後援 ／ 土浦市、シネ・フォーラムつちうら

戦争と無権利の時代、反戦と主権在民を掲げ闘いに斃(たお)れた若き女性の真実の物語

日本は1920年代（昭和初期）、絶対的天皇専制軍事ファッシズムのもと国民は天皇の臣民（天皇の家来）とされ、貧困と無権利の状態に置かれていました。

支配体制を強める絶対的天皇専制政治は中国への侵略を本格化し、1925年に治安維持法を成立させ、共産主義者、社会主義者、労働組合・農民組合、知識文化人などを思想犯罪者として逮捕し拷問を加え弾圧したのです。

多くの若き社会活動家が治安維持法で命をおとしました。伊藤千代子もそうした活動家のひとりでした。

この映画は伊藤千代子をはじめ、この厳しい時代に社会変革への志をもち、必死に生きた人々の真実の物語です。

本映画は映画的リアリズムを追求し、製作者達は真摯な気持ちで作品に対峙し撮影されました。

伊藤千代子役にはオーディションで選ばれ本作品で映画デビューする新人・井上百合子。

その他主要なキャストには、窪塚俊介が複雑な革命家、浅野晃を見事に演じているほか、土屋文明に金田明夫、そして石丸謙二郎が冷徹な特高を演じています。

また、東京女子大の学長、安井てつ役で竹下景子が出演。その他、若手新人女優が多数出演。

監督には、映画「校庭に東風吹いて」等製作した社会派監督桂壮三郎がメガホンをとっています。

日本／125分／カラービスタビジョン作品
©2022映画「伊藤千代子の生涯」コーコービジュアル企画

小林多喜二と伊藤千代子 ～時代が結んだ青春～

1928（昭和3）年、日本で初めて25歳以上の男性のみの普通選挙が行われました。このとき伊藤千代子は、北海道から出馬する労農党の候補者・山本懸蔵 の選挙資金を用立てるなど活動に参加しました。

一方、小樽では小林多喜二らが「われらの山懸」を迎え、たたかいの火ぶたが切られました。選挙応援の機会が巡ってきた多喜二は羊蹄山の麓へと吹雪をついて突き進み「俺たちの運動は何代がかりだなぁ」と…。（小林多喜二『東倶知安行』より）

同時代に、小林多喜二と伊藤千代子は目に見えない糸で結ばれながら、社会変革への息吹を胸一杯に吸うのでした。

二人が、もし特高警察の弾圧で生を絶たれなければ、どんなに素晴らしい人生を切り拓いていったことだろう。


小林多喜二
（1903～1933年）


伊藤千代子
（1905～1929年）

『婦人論』読んで、ジェンダー平等へのめざめ

「女が勉強して何にならずか」という風潮の中で、向学心に燃えた千代子は、諏訪高等女学校で土屋文明から薫陶を受け、仙台・尚絅女学校では自由・平等の新しい社会思潮にふれ、そして臨んだ東京女子大でベーベルの『婦人論』に出会い、「これだ」と感動した千代子は、郷里の友に書き送る―。

「女の人が覚める時、男子の催眠術から、
そして自己の自己に対する
催眠術から覚める時、
どんなにすばらしい世の中が
展かれて来るでしょう」

（1925年12月発信の手紙から）

賛同団体　治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟　日本国民救援会　日本婦人団体連合会　婦人民主クラブ　新日本歌人協会　全日本年金者組合　全日本年金者組合東京都本部　全日本民主医療機関連合会　宇治・長野・大阪・東京各山宣会







完成記念・古河披露上映会

日時／2022年**5月21日（土）** ①10:30～ ②14:00～（開場:各30分前）

会場／**スペースU古河・多目的ホール**　［各回、ゲストの舞台挨拶を予定しています］

入場料 前売 **1,200円**（当日券・一般1,400円、中・高生800円）［◆製作協力券をお持ちの方はご利用できます］

◆前売券取り扱い所／オカザキ電機、ギンゲツ楽器、久下商店、思明堂薬房、つかもと書店、長命寺、文具センター(有)くりっぷ

■後援 ／ 古河市、古河市教育委員会、坂東市教育委員会、五霞町教育委員会、境町教育委員会

■主催 ／ 映画「わが青春つきるとも－伊藤千代子の生涯－」上映実行委員会（問い合わせ先／TEL0280－22－3246・井上）

［コロナ感染対策］①主催者としては、入場定員を少なくし、間隔をとった座席といたします。
②ご来場の皆様方には次記項目のご協力をお願いいたします［①マスクの着用　②入り口での検温・手の消毒　③来場者名簿の作成］